

② 地域と一体となった次世代育成の支援、お年寄りにもやさしい社会づくり

C S R
重要課題

お年寄りや子どもにもやさしい社会への貢献



●次世代育成支援活動

九電みらい財団は、少子高齢化や共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化等により、子どもたちの育成環境が大きく変化する中、九州の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するため、NPO等の諸団体が取り組む次世代育成支援活動への助成事業を実施しています。2019年度は121件の応募があり、選考委員会での選考

を経て、23件の活動に助成しました。

また、それぞれの助成先の素晴らしい活動を広くお知らせすることも助成事業の目的としており、活動を取材し、各団体の活動の様子や活動にける思いを九電みらい財団のFacebook等で紹介しています。

【募集した活動】

・子どもたちへの支援活動

体験を通じて、子どもの社会性や協調性、規範意識等を育むこと、及び九州地域を大切にすることの育成を目的とした活動

・子育て世帯への支援活動

共働き世帯や非正規雇用の増加、地域のつながりの希薄化等、子育て世帯を取り巻く厳しい状況を緩和することを目的とした活動

2019年度 次世代育成支援活動 助成団体を募集します。

募集期間：11月13日～12月25日

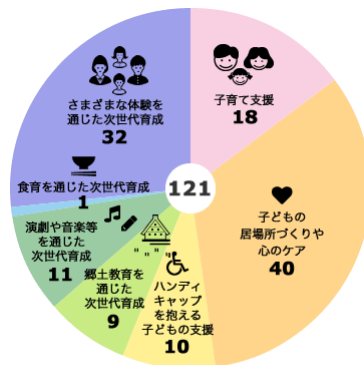
1件あたりの上限金額は100万円（助成件数20件程度）

募集する活動

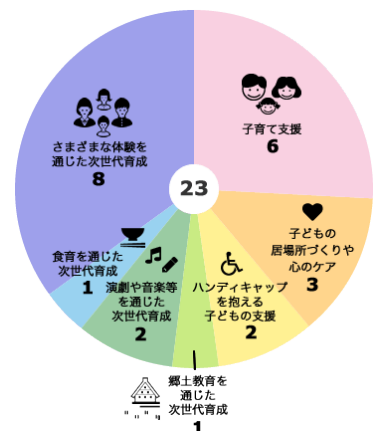
- 子どもたちへの支援活動
 - 地域の中心部や郊外など、地域のつながりが希薄な地域において、子どもたちの社会性や協調性、規範意識等を育むこと、及び九州地域を大切にすることの育成を目的とした活動
 - 体験を通じて、子どもの社会性や協調性、規範意識等を育むこと、及び九州地域を大切にすることの育成を目的とした活動
- 子育て世帯への支援活動
 - 共働き世帯や非正規雇用の増加、地域のつながりの希薄化等、子育て世帯を取り巻く厳しい状況を緩和することを目的とした活動
 - 体験を通じて、子育て世帯の社会性や協調性、規範意識等を育むこと、及び九州地域を大切にすることの育成を目的とした活動

助成団体応募チラシ

2019年度 活動分野別の応募・助成実績



応募件数



助成件数

【2019年度の助成団体】



団体名：さんく(大分)
活動名：さんく
～大人も子どもも人生の主人公に～

子育て講座やワークショップの開催、個別のサポートを通じて、母親の孤独や心理的負担の軽減を図る。



団体名：北九州子育て支援団体 Hummingbird(北九州)
活動名：「料理の基本のキ!」
新米ママの苦手克服お台所

母親の観点から食育を見つめ直すことを目標とし、現代風の「楽(らく)」を取り入れながら、料理の基本を学ぶ講座を展開する。



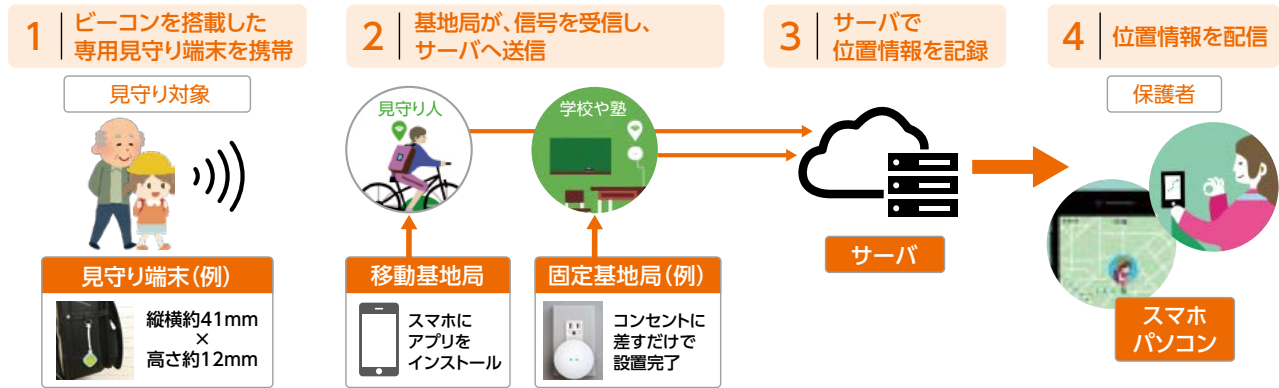
団体名：みくりや駅前元氣カフェ(長崎)
活動名：木のぬくもりと地域のあたたかさを感じられるふれあいの場所作り

高校生と高齢者が一緒に、地域の木材を使って幼児用木製遊具を制作することで、住民同士の助け合いや社会参加を促進するための交流の場を作る。

●IoT技術を活用したお年寄りや子どもの見守りサービスを提供しています

九州電力送配電(株)では、九電グループのイノベーションプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」から生まれた新しい見守りサービス「Qottaby(キューオッタバイ)」を、福岡市内の小学校を中心に提供しています。このサービス

は、ビーコン(電波発信機)を搭載した専用見守り端末を携帯する小学生や高齢者等の位置情報を、保護者の方等がスマートフォンやパソコンで確認することができるものです。



●離島医療を支援しています

グループ会社の西日本空輸(株)では、ヘリコプター事業で培った強みを活かし、大小多くの離島を抱える長崎県で、長崎離島医師搬送システム(NIMAS)事業に参画しました。この事業では、移動手段に制約の多い離島医療に従事する医師に対して移動手段を提供することを通じて、離島医療を支援しました。

また、同社は、九州内5県でドクターヘリ事業にも参画しており、消防機関等からの出動要請に基づき、重篤患者が発生した現場に医師を迅速に送り込み、救命医療を支援しています。



救命医療専用のヘリコプター「ドクターヘリ」